

1. 調査報告概要表

作成日 平成19年 5月30日

【評価実施概要】

| | |
|-------|------------------------------------|
| 事業所番号 | 3471502256 |
| 法人名 | 有限会社 メディコ |
| 事業所名 | グループホーム敬愛 |
| 所在地 | 福山市松永町5丁目9-11 (電話) 094-930-0303 |

| | |
|-------|-------------------------|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 医療福祉近代化プロジェクト |
| 所在地 | 広島県安佐南4-46-9 |
| 訪問調査日 | |

【情報提供票より】(19年 5月 10日事業所記入)

(1) 組織概要

| | | | |
|-------|-----------------|--------|--------------------------|
| 開設年月日 | 平成 14 年 6 月 1 日 | | |
| ユニット数 | 2 ユニット | 利用定員数計 | 18 人 |
| 職員数 | 16 人 | 常勤 | 11 人, 非常勤 5 人, 常勤換算 13.6 |

(2) 建物概要

| | |
|------|-----------------|
| 建物構造 | 鉄骨・鉄筋 造り |
| | 3階建ての 2階 ~ 3階部分 |

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

| | | | |
|---------------------|---------------|----------------|-------------|
| 家賃(平均月額) | 60,000 円 | その他の経費(月額) | 円 |
| 敷金 | 有(円) | 無 | |
| 保証金の有無 (入居一時金含む) | 有(180,000 円) | 有りの場合 償却の有無 | 無(修繕費以外は返却) |
| 食材料費 | 朝食 | 円 | 昼食 円 |
| | 夕食 | 円 | おやつ 円 |
| | または1日当たり | 1,170 円 | |

(4) 利用者の概要(5月10日現在)

| | | | | | |
|-------|-----------|------|------|----|------|
| 利用者人数 | 18 名 | 男性 | 3 名 | 女性 | 15 名 |
| 要介護1 | 2 名 | 要介護2 | 6 名 | | |
| 要介護3 | 3 名 | 要介護4 | 5 名 | | |
| 要介護5 | 2 名 | 要支援2 | 0 名 | | |
| 年齢 | 平均 81.4 歳 | 最低 | 66 歳 | 最高 | 91 歳 |

(5) 協力医療機関 佐藤脳神経外科

| | |
|---------|-------|
| 協力医療機関名 | かやの歯科 |
|---------|-------|

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

地域密着型サービスとしての取り組みは親会社である病院の経営が地域の中で安心して暮らせるようにすればどうすればよいかの取り組みの中から自然発生的に生まれたものでありグループホーム単独で地域密着型サービスに取り組むより親会社である松長メディコのもつ介護事業の中で地域密着型となる活動を期待する。

【重点項目への取り組み状況】

| | |
|------|--|
| 重点項目 | 前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4) |
| | 前回と評価の方法が変わったため今回はコメントしない。 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) |
| 重点項目 | グループホームとしては地域密着型としての取り組みに不安を感じておられるが松永メディコの組織の中でグループホームの特性を發揮するとともにほかに部門(デイケア、ショートステイなど)と連携して活動されることを期待する。 |
| | 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) |
| 重点項目 | 地域の人たちはグループホームは事業所であるとの認識が感じられるが、行政(包括介護支援センターなど)とともにホームは在宅生活の延長線であることの認識を運営推進会議で推進する。 |
| | 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) |
| 重点項目 | たよりの発行や月一度は生活状況のお知らせを行っており、意見はこの設置、家族訪問時の声かけと意見の収集をしている。 |
| | 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) |
| 重点項目 | 松永メディコの取り組みを地域の人たちに理會してもらおう活動(たとえば地域での介護予防教室の開催など)地域生活にとけこむ活動を期待する。 |

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-----------------------|----|--|---|-------|---|
| . 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 設立時の理念はよく理解されているが地域密着型としての理念の取り組みがない。 | | 事業主体の松永メディコが地域の中に密着する取り組みがある。ディケア、ディサービス、ショートステイなどと一体となった地域密着の理念を期待する。 |
| 2 | 2 | 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 毎朝の引継ぎ時や毎月の会議で話し合い共有している。 | | |
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 3 | 5 | 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | まつりには参加しているが町内会には入っていない。 | | 地域とのかかわりがおおくあるほど地域密着としてのホームが生きてくるので松永メディコとしての地域への働きかけを期待する。 |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 4 | 7 | 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | ミーティングで評価の話をしており、職員は理解している。 | | |
| 5 | 8 | 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | ホームとしては積極的に取り組んでいるが地域の人たちの認識(地域密着型サービスというものの)がもう少しのようである。 | | グループホームは在宅生活の延長線上にあることを地域の人たちに理解してもらい取り組みを行政(包括介護支援センター)と一緒にやって行くことが望まれる。 |

グループホーム敬愛

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------|----|---|---|-----|------------------------------------|
| 6 | 9 | 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | 行政(包括介護支援センター)との連携を密にとることが望まれる。 | | 運営推進会議に包括介護支援センターの人も参加されるように働きかける。 |
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 7 | 14 | 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている | 行事をしたときの たよりの発行や家族が来訪時の声かけ、請求時の近況のお知らせと報告をしておられる。 | | |
| 8 | 15 | 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 運営委員会に家族の参加や意見箱の設置、家族が訪問時の声かけと行なっている。 | | |
| 9 | 18 | 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 入居者と職員が顔なじみになるよう職員をローテーションで勤務させている。デイサービス勤務となっても声掛けをしている。 | | |
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 10 | 19 | 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 研修に参加したときはミーティングでその内容を全職員に知らせている。 | | |
| 11 | 20 | 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | レクの勉強で知り合った職員同士の交流がある。 | | |

グループホーム敬愛

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------------|----|--|--|-----|-----------------------------------|
| .安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 12 | 26 | <p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p> | <p>松永メディコとして、デイケア、デイサービス、ショートステイ、グループホームと地域の人に馴染ませよう取り組んでいる。</p> | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 13 | 27 | <p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p> | <p>職員は入居者と話し合いながら一日の生活に取り組んでいる。</p> | | |
| .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | | |
| 14 | 33 | <p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p> | <p>入居者一人ひとりのそれまでの暮らしを良く把握しており、できるだけ希望に添えるように努めている。</p> | | |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 15 | 36 | <p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p> | <p>介護計画を作る前に職員は家族と相談しており職員の参加によるカンファレンスが行なわれている。</p> | | |
| 16 | 37 | <p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p> | <p>3ヶ月に一度は見直しを行っており、入居者の状態の変化が現れるとすただちに行なっている。</p> | | |

グループホーム敬愛

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------------|----|--|---|-----|-----------------------------------|
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | | |
| 17 | 39 | 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 親会社である松永メディコが持っているデイケア、デイサービス、ショートステイが連携して多機能を発揮できる取り組みとなっている。 | | |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | | |
| 18 | 43 | かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 家族の希望される病院に行かれる方やかかりつけの病院に行かれるよう支援しており、家族へは受信結果をきちんと報告されている。 | | |
| 19 | 47 | 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | かかりつけ病院が終末期をきちんと世話をしている。 | | |
| . その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | | | |
| (1) 一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 20 | 50 | プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | トイレの声かけなどは入居者のプライバシーを配慮した声かけとなっている。 | | |
| 21 | 52 | 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 一人ひとりの体調に合わせた日々の生活ができており、グループで話をする人、部屋で過ごす人と入居者の生活ペースに合わせた配慮がされている。 | | |

グループホーム敬愛

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------|----|--|---|-----|-----------------------------------|
| (2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 22 | 54 | 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 食事作りはグループ全体で作られているが入居者に合わせた刻み食などの準備や食事介助と一緒に過ごされている。 | | |
| 23 | 57 | 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 入居者の希望を聞きながら2～3日に一度は入るように工夫されている。 | | |
| 24 | 59 | 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 洗濯物たたみ等ひとりではできないことは声かけで行っておられ、自分でできることが元気を与えているようである。 | | |
| 25 | 61 | 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 買い物、散歩など入居者の希望はかなえるように努めておられる。 | | |
| (4)安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 26 | 66 | 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 1階でデイサービスを行っておりデイの人が外に出られない工夫をしておられる。ただ入居者がこのホームが自分のおうちであるという認識がしっかりできればだまってるのが移出は防げると思います。 | | |
| 27 | 71 | 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 年に2回避難訓練(非常階段を利用して)を行っており、消防署の協力がある。 | | |

グループホーム敬愛

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------|----|--|---|-----|-----------------------------------|
| 28 | 77 | 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 毎日のバイタルチェック、排泄、水分量、食事量の詳細は記録されており一目でわかるように1日の一覧にされ、夜勤が目当てでサインをしている。 | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| (1) 居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 29 | 81 | 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 共用空間は広く、ソファ、テレビ、畳の間があり、入居者はゆったりとした生活をしている。 | | |
| 30 | 83 | 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 居室には入居者の思いの持ち物が置かれて、その人らしく過ごせるように配慮されている。 | | |